

令和 6 年度
第 5 回 教育委員会 会議録

那須町教育委員会

令和 6 年度第 5 回那須町教育委員会会議

令和 7 年 2 月 13 日午後 1 時 3 0 分から、令和 6 年度第 5 回那須町教育委員会が開催され、その結果は次のとおりであります。

- 1 本会議に出席した委員は次のとおりであります。

平久井好一教育長、菊地厚子委員、大森源一郎委員、菊地昭一委員、
金田裕美子委員

- 1 本会議に出席を求めた者は次のとおりであります。

学校教育課長 島村育男、生涯学習課長補佐 相馬さおり、こども未来課長 渡邊 誠

- 1 本会議の書記を命ぜられた者は次のとおりであります。

学校教育課長補佐 赤羽根 初美

- 1 本会議の傍聴者は次のとおりであります。

なし

- 1 本会議の議事は次のとおりであります。

議事

- (1) 令和 7 年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について
- (2) 那須町立小中学校共同学校事務室設置要綱の新規制定について
- (3) 那須町立小中学校管理規則の一部改正について
- (4) その他

報告事項

- (1) 第 2 次那須町男女共同参画計画の策定について
- (2) 各種許可・認定状況について
- (3) その他

1 開 会

学校教育課長

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第5回那須町教育委員会を開催いたします。

はじめに、平久井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

2 教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。令和6年度第5回目の教育委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。

令和6年度もあと残すところ一か月半となりました。

いくつかお話をさせていただきます。まず一つは、先週の2月7日金曜日、県の町教育長部会研修会がございました。これは、教育長以外に事務方や指導主事が参加する研修会です。その中で、壬生町からコミュニティ・スクールを組織したが、活性化を図るにはどうしたら良いかとの課題が出されました。

野木町の菊地教育長からは、那須町のコミュニティ・スクールの活動の様子を視察したことを踏まえて、野木町でのコミュニティ・スクールの活性化に向けた活動についても報告がありましたが、なかなか大変な状況のようでした。

那須町としては、コミュニティ・スクールは学校が困っている部分を地域にお願いするのではなく、教育活動に地域保護者が入ることや学校が地域に働きかけを行うことで、子どもたちが地域の方々からいろいろなものに触れて感じる実体験からの深い学びの場の提供に繋がっていることや子どもたちが熟議に参加して子どもの立場から大人へ意見をはっきりと伝えることが出来ていることについてお話をさせていただきました。那須町のように子どもたちが大人に混じって熟議に参加することは珍しいようです。

縦に一貫教育、横にコミュニティ・スクールに取り組み10年が経過しますが、本当に地域の皆さまの学校や子どもたちへの温かさや強い気持ちなどを感じながら過日のプレゼンフェスティバルを観ていました。

子ども達の堂々とした発表の姿から、皆さま方のご尽力により、これまで取り組んできた成果を感じることが出来ました。

昨日是那須高原小学校でフェスティバルが開催されましたが、学校区内の保育園の子どもたちも参加しており、子どもたちの主体性を大切に地区社協や商工会、PTAなどと連携した事業でした。非常に良い雰囲気の中、生き生きとした子どもたちの様子を見ることができ、那須町の教育は少しずつ子ども主体になりつつあることに、とても嬉しく

思っています。

次年度の教職員の人事異動についても終盤になってきております。3月14日に内々示、3月24日に内示の予定です。3月7日に教育委員会を開催し承認をいただく予定でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、次年度の教育委員会事業の予算について、ご説明をさせていただきます。

教育委員会終了後には、今年度最後となります総合教育会議の中で、那須町の学校のあり方について説明させていただき、皆さま方からのご意見をいただく予定であります。

どうぞよろしくお願いいたします。

学校教育課長

ありがとうございました。

これより進行を平久井教育長にお願いいたします。

教育長

それでは、令和6年度第5回那須町教育委員会を始めさせていただきます。

本日の出席委員は、菊地厚子委員、大森源一郎委員、菊地昭一委員、金田裕美子委員の4名であります。

また、本会議に出席を求めた者は、島村学校教育課長、相馬生涯学習課長補佐、渡邊こども未来課長の3名であり、書記として学校教育課赤羽根課長補佐を同席させております。

3 会議録署名人の指名

教育長

本日の会議録署名人を指名致します。菊地厚子委員と大森源一郎委員を本日の会議録署名人に指名致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

4 前回会議録の承認

教育長

続きまして、前回会議録の承認ですが、会議録の説明を学校教育課長よりお願いいたします。

(学校教育課長説明)

教育長

ただいま、説明のありました会議録につきまして、何かございますか。

全委員

ありません。

教育長

はい。分かりました。

それでは、ただいま説明がございました会議録につきまして、承認をいただけるということで、よろしいでしょうか。

全委員

承認する。

教育長

それでは、本日の委員会の日程について、学校教育課長からお願いします。

(学校教育課長説明)

5 協議事項

教育長

それでは、議事に入ります。議案第1号 令和7年度那須町教育委員会主要事業計画(案)について、それぞれ所管課長の説明をお願いいたします。それでは、こども未来課からお願いいたします。

(こども未来課長説明)

教育長

ただいま説明をいただきました こども未来課の主要事業計画(案)について、委員の皆様からご意見をいただきます。いかがでしょうか。

菊地(厚) 委員

はい。今年度は町内の公立私立全ての保育園を視察させていただきました。保育園運営適正化・整備事業ですが、保育園の施設環境がかなり大変な状況であることを目の当たり

にしましたが、大切なお子様をお預かりするための施設整備については緊急に対策を講ずる必要があると感じました。その点については、どうお考えですか。

こども未来課長

はい。保育園の施設状況の改善につきましては、子どもの安全な保育に向けて修繕や整備について予算要求をお行っております。

菊地（厚）委員

伊王野保育園の施設整備に伴う予算規模はどのくらいになりますか。

こども未来課長

80万円程の予算規模での改修予定で実施する予定です。

菊地(厚)委員

大切なお子様をお預かりするに値する施設整備に向けて早急に対応していただきたいと思えます。

大森委員

今後、第一保育園と第二保育園が統合されますが、保育施設への子どもたちの受け入れスペースは問題ありませんか。

こども未来課長

今後、少子化に伴い子どもたちの受け入れ人数は減少傾向にはありますが、120名弱と想定しております。施設としましては、140名まで受け入れ可能です。

大森委員

それでは、今後、増設改修などは無いということでしょうか。

こども未来課長

現時点においては、増設改修などの予定はございません。

大森委員

はい、わかりました。

続けて伺います。放課後児童健全育成事業ですが、とても大きな予算規模ですね。

放課後児童クラブは、学童クラブ事業の運営支援になりますか。

こども未来課長

はい、学童保育の運営支援になります。内容的には複雑になりますが、施設面積に応じた受け入れ人数や支援を要する児童の受け入れに対する配置基準などから算定されます。

大森委員

以前は、学童保育運営事業に際しては自治会からの補助もなく事業運営に困難であるとの話も聞いたこともあります。

こども未来課長

町予算において計上しているものは、町の公設児童クラブとなります。

大森委員

少しでも補助により支援ができ保護者負担が軽減されると良いと思います。

金田委員

子どもの居場所づくりですが、今年度事業開始された事業者についてですが、今年度募集等を行っていますか。居場所づくり事業は既に運営されているのでしょうか。

こども未来課長

はい、居場所づくりについては、現時点ではまだ開始されておられません。この事業は日本財団の補助支援を受けながらの運営となっております。

今後は保護者の育児相談や発達相談などの家庭教育にも事業展開する予定であると聞き及んでおります

金田委員

将来的には、子どもたちのアクティビティを組み込むことについて検討していただきたいと思います。

こども未来課長

現在放課後児童クラブを運営されております業者さんからのお話ですが、子ども達に対する体験活動についての実施予定はあるようです。具体的な内容については未確認です。

金田委員

分かりました。最近では子どもの居場所づくりについても、ただ預かるだけではなく、習い事などのアクティビティをプラスアルファした放課後児童クラブも増えているようです。今後は部活動地域移行も鑑みながら、子ども達の体験活動や習い事を行うために、放課後児童クラブの送迎事業などを活用しながら実施できると保護者のニーズも高まると思います。

現在、民間運営の放課後児童クラブをどのくらいの児童が利用していますか。

こども未来課長

収容人数は 50 名程度ですが、現時点では 20 名程度の児童が利用しています。

今後、子どもたちの体験活動につきましては、積極的に取り入れていただくよう、お伝えしたいと思います。

金田委員

ぜひ、よろしくお願いします。

教育長

民間運営の場合、放課後児童クラブ事業以外にも休日預かりや学習塾、特別支援児童の預かり、保護者の相談など多機能です。夏休みにはキャンプも実施しているようです。

菊地(厚)委員

保育園を視察した際に保育士さんからお聞きしましたが、災害時の備品を保管する備蓄倉庫の設置費用や絵本購入費の予算が無く困っているとのこと。必要なものについては、きちんと予算化して早急に課題を解消して欲しいと思います。

大森委員

私も同意見です。保育園では古い絵本を使って子どもたちへ読み聞かせなどを行っている状況を見て、改善が必要だと感じました。

こども未来課長

保育園の予算については、保育園長へヒアリングを行った上で予算要求をしておりますが、予算化できておらず申し訳ありません。

図書については、町の図書館に要望することで図書を揃えてもらうことも可能です。また、保育園への出張図書館も可能ですので、保育園への図書館の活用も検討しております。

防災倉庫設置については、備蓄品に水などの食料品も考えられます。夏は倉庫内の温度も高温になるため、必要備蓄品も含めて保育園長のご意見を聞きながら検討していきます。

菊地（厚）委員

保育園視察時の話ですが、保育園では常に子どもたちの身の安全を確保するために、保育士が子どもたちの防災頭巾などを子どもたちの活動場所に常に携帯していました。子どもたちの安全について真剣に考えているからこそ防災倉庫の必要性を感じていると思います。担当課には園長へのヒアリングを行い、現場の声を吸い上げて欲しいと思います。

こども未来課長

はい、分かりました。

教育長

今年度は、教育委員の皆さまには私立も含めて町内の保育園、幼稚園の視察をしていただきました。実際視察すると現場と事務局の温度差を感じずにはいられませんでした。

絵本については、寄付金をいただける予定がありますので、赤羽根補佐から説明願います。

赤羽根課長補佐

絵本につきましては、昨年度に続いて那須信用組合様から寄付金をいただける予定です。

昨年度は小中学校で分配しておりましたが、今年度は町立保育園4園も含めて分配する予定ですので、保育園でも新しい絵本を購入できる予定です。

菊地（厚）委員

分かりました。早急に対応していただければと思います。

教育長

町の子ども読書活動推進委員会ではアンケートなどを実施して、子どもたちの本との関

係について実態把握しながら、子どもたちが楽しく本を読める町にするために取組んでいます。子どもたちには、常に新しい現状に応じた本が必要だと思います。小さいときから本は楽しいと思えるような環境を作るのが我々の仕事だと思います。

菊地（厚）委員

そう思います。納税している町民としては、本当に必要なものに予算を使って欲しいと思います。子どもを含めてみんなが嬉しくなるようなお金の使い方を検討して欲しいです。

教育長

ご意見ありがとうございます。

それでは、学校教育課の事業計画について説明をお願いします。

（学校教育課長説明）

教育長

ただいま説明をいただきました学校教育課の主要事業計画(案)について、委員の皆さまからご意見をいただきます。いかがでしょうか。

I C T教育推進事業ですが、令和7年度は中学校640台、令和8年度には現時点の児童数になりますが小学校972台のタブレット更新を予定しております。

町では未来共創フェローを委嘱し、デジタル技術やデータを活用して住民の利便性向上に向けて取り組んでおります。その中で教育のD X推進に向けて大阪大学の小出先生に田代友愛小学校のタブレットを使用した授業を視察していただきました。

講評では、那須町は国のGIGAスクール構想前から計画的にICT教育に取り組んでおり、GIGAスクール構想の最高着地点レベル3に到達しているとの事でした。ただ、タイピングにおいては、レベル1であるため、今後、改善が必要であると指摘を受けました。この点については、校長会において指示をしたところです。

大森委員

更新費用には国からの補助金がありますか。

学校教育課長

はい、あります。国では55,000円を上限に2/3の補助があります。

大森委員

補助には機種の制限などがありますか。

学校教育課長

機能面での最低スペックはありますが上限はありません。近隣自治体では、クロームブックのノート型パソコンを使用しておりますが、購入額は国の補助金上限金額程度を見込んでいるようです。

那須町では現在使用しているLTEタブレットにキーボードを付けたもので一台当たり95,000円のタブレットを購入予定しておりますので、他より高額になる予定です。

子どもたちの調べ者学習にも活用できるよう、持ち運びやタイピングを考慮した機種選定となっています。

教育長

それでは、生涯学習課の事業計画について説明をお願いします。

(生涯学習課長補佐説明)

教育長

ただいま説明をいただきました生涯学習課の主要事業計画(案)について、委員の皆さまからご意見をいただきます。いかがでしょうか。

大森委員

文化財保護事業の進捗状況はいかがですか。

生涯学習課長補佐

年度でエリアを区切って実施しております。現在は芦野、伊王野地区を調査しております。場所によっては遺跡の出土もあります。

大森委員

地籍調査では構図混乱地域もあり調査が大変なようですね。森林贈与税を活用して地籍調査と一緒に調査ができると良いのかなと思います。

教育長

地籍調査は地権者立会いのもと境界を決めていくものです。調査内容が遺跡調査とは異なるものであるため、一緒に実施することは難しいのではないかと思います。

大森委員

はい、分かりました。

菊地(厚)委員

事業実施に向けた予算ですが、ふるさと納税で那須町を応援してくれている方のご意向もありますので、もっと子育て支援に活用できないのでしょうか。令和5年度の納税額8億5千万円に対して少子化対策に対する事業費として3億5千万円を充当していることになっていますが、なかなか目に見えにくい状況です。子どもたちの創造性や那須町に対する郷土愛を育むためにも、予算配分をきっちりとしていただきたいと思います。

子どもたちも議会やプレゼンフェスティバルで自分の夢や那須町に対する課題解決提案などを行っていますが、なかなか実現できないのでは、子どもたちが那須町に対して魅力を失ってしまうのではないかと心配しています。私自身も以前から同意見を申し上げさせていただいておりますが、何度申し上げても形にならないのであれば教育委員としての存在自体、どうなのかなと疑問も感じてしまいます。

町長にも直接お願いしたいと思っておりますが、子どものことを本当に真剣に考えるのであれば、もっと教育に予算を付けて欲しいと思います。

学校教育課長

委員が仰いますように、ふるさと納税の使途の可視化については必要であると思います。

子どもたちが使用しているタブレット端末は携帯電話と同じLTE方式になっておりますが、通信料が2,000万円程度になります。この通信料にはふるさと納税が充当されております。

菊地(厚)委員

那須中校長からお聞きしましたが、子どもたちからふるさと納税の使途を明確にして欲しいと町に質問したが回答が無いとのこと。これはどういうことなのでしょう。子どもたちは熱意をもってプレゼンしているのに対して町の対応として正しいのでしょうか。子どもたちへ町としてきちんと返答する必要があると思います。

制限を設けた上で子どもたちが自由に使える予算があっても良いのではないかと思います。プレゼンフェスティバルを観ても、活動費用が無いためゴミを収集して、そのゴミをリサイクルした商品を作り販売して費用を捻出しているところもありました。教育的ではあるかもしれませんが、町が事業として実施するのであればある程度の予算を付ける必要はあると思います。

大森委員

プレゼンフェスティバルはイベントだけで終わっているように感じています。子どもたちが可哀想に感じます。子どもたちによる模擬議会もありますが、子どもたちにただやらせているパフォーマンスだけで何も取り上げていないのは、改善する必要があると思います。

教育長

今年度のプレゼンフェスティバルには町議長をはじめ数名の町議にも参観していただきました。議長へ模擬議会もそうですが、子どもたちの提案内容、とても良かったねという評価だけでなく、主権者教育のためにも、子どもたちの提案から取り入れられそうなものについて予算化して実現して欲しいと伝えました。

また、学校や保育園の予算確保については、もっと現場に行って教職員や保育士からの意見を聞いて欲しいと思います。

菊地(厚)委員

そう思います。発想の転換も必要だと思います。これからの子どもたちを育てていく中で、必要な時にすぐに使える予算を確保することで、那須町で育つ子ども達が那須町の魅力を失わずに育つと思います。

大森委員

以前、学校勤務していたころの話ですが、学校で自由に使える予算がとても少なかったように思います。学校への予算配分については、是非、上乘せを検討して欲しいと思います。

教育長

はい、ご意見ありがとうございました。

それでは、令和7年度那須町教育委員会主要事業等予算については、承認するとしてよ

ろしいでしょうか。

全委員

了承する。

教育長

それでは、次に議案第2号那須町立小中学校共同学校事務室設置要綱の新規制定について、学校教育課長より説明願います。

(学校教育課長説明)

教育長

ただいま説明をいただきました議案第2号について、委員の皆さまからご意見をいただきます。いかがでしょうか。

菊地(厚)委員

拠点校は固定されるのでしょうか。

学校教育課長

拠点校は中学校になります。

教育長

那須中央中学校区と那須中学校区で共同事務室を設置して共同事務を行っています。

那須町の共同事務の取組みは県内でも素晴らしい取組みであると知られており、取組みについて講師として講演している事務長もおります。

だっばラジオにも出演して取り組み内容について紹介しております。

学校の教職員の働き方改革や教職員の子ども達に関わる時間をいかに生み出すかについて事務の先生方が考えてくれています。

菊地(厚)委員

そうなんですね。この要綱新設に伴い、さらに前進することになりますね。

教育長

そうですね。それでは、議案第2号については承認するとしてよろしいでしょうか。

全委員

承認する。

教育長

ありがとうございます。それでは議案第3号那須町立小中学校管理規則の一部改正について、学校教育課長より説明願います。

(学校教育課長説明)

教育長

ただいま説明いただきました議案第3号について、委員の皆さまからご意見をいただきます。いかがでしょうか。

全委員

承認する。

教育長

ありがとうございます。それでは、その他について事務局より何かありますか。

事務局

特にありません。

6 報告事項

教育長

次に報告事項に移ります。報告事項(1)第2次那須町男女共同参画計画について、説明をお願いします。

(生涯学習課長補佐説明)

教育長

ただいまの第2次那須町男女共同参画計画について、委員の皆さまからご質問はありますか。

菊地(厚)委員

アンケートを読ませていただきましたが、回答から性差が表れていると感じました。女性の活躍の場というのは、とても理解できますが、性差を抜きにして考えてはいけないと思います。男女のバランスが大切だと思います。女性は子供を産むことで性差は明らかがあるので、男女が協力して支えあいながら働く協働だと思います。平等とは言っても支え合う気持ちが必要なんじゃないかと思います。数字目標を上げることも必要ですが、環境を変えることも必要だと思います。男女が歩み寄ることが大切だと思います。

金田委員

私もこの計画を読ませていただき、アンケートの自由意見について最もであると思いました。

このような計画策定は、大変ご苦勞されていると思いますが、第2次計画期間のうち実現率はどのくらいなのか疑問に思います。

私の肌感覚にはなりますが、実現率は低いと感じています。男女共同参画と書いている時点で差別に感じます。男女が共にというスローガン自体が既に時代遅れに感じます。

アンケートの自由意見にあります。女性が出産することで完全な平等は不可能だと言う意見がありました。本当にそう思います。男女が互いにリスペクトしながらフレキシブルに動ける環境づくりが現社会に合っていると思います。それを実現しつつあるのが今の若者たちZ世代だと思います。例えば男女関係なくパートナーが働きたい、キャリアを伸ばしたい場合、パートナー同士でフレキシブルに簡単にマインドを変えられます。このようなマインドの基に男女参画計画を策定しないと全く意味が無いと思います。

策定には本当にご苦勞されているところ、大変申し訳ありませんが、町民のアンケートからの自由意見についてAIを活用して作成すると那須町にとって何が一番良いのか分かると思います。

計画策定、お疲れ様でした。

教育長

そうですね。時代の変化とともに徐々に変わっていくと思います。

第3次計画策定時には、また新しい変化もあるでしょうね。

大森委員

大変素晴らしい計画を策定されたと思います。

菊地（昭）委員

やはり、男女は互いに協力して助け合うことが大切だと思います。

菊地（厚）委員

このアンケートに書かれているご意見は、とてもバランス感覚のある意見が多いと感じました。

教育長

はい、ご意見ありがとうございます。それでは報告事項になりますので、ご承知願います。次に報告事項（２）各種許可・認定状況について説明をお願いします。

（学校教育課長説明）

教育長

ただいま説明のありました各種許可・認定状況について、委員の皆さまから何かご意見はありますか。

全委員

特にありません。

教育長

ありがとうございます。それでは報告事項になりますので、ご承知願います。

7 その他

教育長

その他について事務局から何かございますか。

事務局

ありません。

教育長

委員の皆さまからは、何かありますか。

全委員

ありません。

教育長

はい、それでは事務局にお返しします。

学校教育課長

以上をもちまして、令和6年度第5回教育委員会を終了します。大変お疲れ様でした。

この会議録は書記 赤羽根初美が記録したものであり、事実と相違ないことを署名する。

令和7年2月13日

委 員

菊地厚子

委 員

大森 裕一郎

書 記

赤羽根 初美